

事後評価シート

調査研究課題名	海外のメガシティにおける都市の発展段階とインフラシステムのニーズに関する調査研究
担当者	研究官 酒井聡佑、研究官 松本雅俊
① 当初目標と目標達成度	<p>人口減少・少子高齢化の進行により国内市場の縮小が懸念される我が国においては、世界の旺盛なインフラ需要を取り込み、我が国企業の受注機会の拡大を図ることを重要な戦略として位置付け、インフラシステム海外展開を推進するための各種取組を進めている。</p> <p>本調査研究では、相手国・地域のインフラシステムのニーズを踏まえ、我が国が持つ技術の適用可能性や日本企業の強みを的確に見極めて海外展開を進めていくため、世界のメガシティに着目し、発展段階に応じて生じている都市課題、必要とされるインフラシステムのニーズを明らかにすることを目的とした。</p> <p>調査では、網羅的な文献調査を行い、世界の6つの都市圏（ラゴス・ダッカ・ホーチミン・ジャカルタ・バンコク・リマ）を対象として、都市発展の経緯、現在のインフラ整備状況、そして今後想定されるインフラシステムのニーズについて整理を行った。</p> <p>その結果、対象とした6つの都市圏における都市課題や、必要とされるインフラシステムのニーズを把握できた。したがって、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>文献調査から、対象都市圏における都市発展の経緯、現在のインフラ整備状況、そして今後想定されるインフラシステムのニーズに関して幅広く情報を収集しただけでなく、当該国在外公館職員にも意見をもとめ、現地状況を踏まえた最新の情報を整理した。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で、国内外のインフラ開発計画や開発途上国に関する知見を有する有識者に、随時ヒアリングを実施し、様々な角度からご意見をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>本調査研究の成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p>
⑤ その他	<p>当研究所のホームページにて、国土交通政策研究所紀要として成果の一部を公開した。</p>